



# 会報

## WEEKLY REPORT

世界に希望を生み出そう

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

2023-24 R.I.会長

ゴードン.R. マッキナリー

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/石岡 幸雄

副会長/萩原 敬一郎

幹事/南出 雅樹

### 第3100回 例会報告

2023.12.22

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)  
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広  
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
TEL 0155-25-7347

■点鐘 石岡 幸雄 会長

■ロータリーソング (それでこそロータリー)

■ゲスト紹介

帯広大谷高等学校 教諭 金沢 潤吉 様  
(ボランティア部) 安村 侑子 様 中野 璃央 様  
伊東陽葉里 様 加藤 弾 様  
杉山 穂花 様 葛西怜汰郎 様  
和田 樹規 様 堀籠 大貴 様  
(生徒会) 朽木 友愛 様 白木 香音 様  
堀田 愛実 様 福山 珠菜 様  
中山 翔太 様 畠山 璃子 様

■会食

■会長挨拶 石岡 幸雄 会長



皆さんこんにちは。今日は先ほどゲスト紹介をさせていただきました大谷高校様より、金沢先生をはじめボランティア部から7名、生徒会から5名の生徒さんに当クラブの例会に参加していただきました。通常、12月の最終例会はお蕎麦を食べて解散なのですが今日はプログラムを組ませて頂きましたので、最後までお付き合いお願い致します。これまでの流れを説明すると、今年の8月4日に私たちが大谷高校様に伺い前年度の活動報告を聞かせて頂きました。また、今週の月曜日にも7人で伺い荒木会員に「ロータリーとはどんな組織か」について講和してもらいました。来年の5月に2500地区のインターアクトの地区大会を帯広で開催することとなり、そのための練習も含めて今日は今年度の活動報告をしていただきます。私を含めてインターアクトの地区大会に参加した方はほとんどいないので当初お断りしたのですが中島会員からの熱い思いを聞かされ理事会にて承認して頂きました。ここでインターアクトについて簡単に説明をさせていただきます。インターアクトとは12歳から18歳の中・高校生と共に奉仕プロジェクトを計画し、実行すること。その中でボランティアの意義やリーダーシップを学ぶことを目的とするようです。ちなみにローターアクトは18歳から30歳までです。日本で最初にインターアクトクラブが創設されたのは1963年仙台育英高校とありました。現在世界で15,000クラブ、34万人の会員がおり、日本では550クラブ、2500地区では11クラブあるそうです。今日の例会で年内の例会は終わりますが私の会長任期は来年の6月までありますので、あと半年宜しくお願い致します。

これで会長挨拶を終わります。

■会務報告 南出 雅樹 幹事

帯広北RC、12月29日(金)の例会は休会と致します。

帯広北RC、1月5日(金)の例会は休会と致します。

帯広北RC、新年交礼会開催のご案内

日時 令和6年1月12日(金)午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

■委員会報告

・マルチプル・ポールハリス・フェロー

3回目達成表彰 工藤 一則 会員

・昨年のお父・母に続き妻の葬儀のお礼

川端 正幸 会員

・母の葬儀のお礼

来海 有起 会員

■ニコニコボックスの発表

萩原敬一郎 副会長

歳末助け合い募金のご協力ありがとうございました。

1年間有難うございました。

松岡 真勝 会員

担当例会よろしくお願ひします。今年も1年間お疲れ様です。

斎藤 政樹 会員

今年もありがとうございました。来年も皆様と元気にお会い出来ればと思います。

神田 京介 会員

今年もありがとうございました。

南出 雅樹 会員

今年もありがとうございました。来年もよろしくお願ひいたします。

高橋 学 会員

今年もお世話になりました。

細川 吉博 会員、 曾我 浩昌 会員、

中島 慎也 会員

今年もお世話になりました。来年もよろしくお願ひします。

来海 有起 会員

今年1年有難うございました。

石岡 幸雄 会長、 及川 悟 会員、

高橋 章 会員

もう今年も終わりです。来年もよい年を迎えますように！

阿部 直之 会員

良い年を迎えてください。

林 学 会員



1年間ありがとうございました。

石原 智 会員、 伊藤 隆志 会員、  
一宮 綾子 会員、 関口 亘 会員、  
山本 淳 会員、 西野 秀司 会員、  
岸本 修司 会員、 矢戸 雅英 会員、  
柴田 隆視 会員、 村上 道隆 会員、  
深井 浩美 会員

妻の葬儀の際は大変お世話になりました。

川端 正幸 会員

母の通夜、葬儀お気づかい有難うございました。

来海 有起 会員

■プログラム 齋藤 政樹 青少年プログラム委員長  
【 湘南学園・安田学園交流事業報告 】

安村 悠子 様、中野 璃央 様  
朽木 友愛 様、白木 香音 様

これから帯広北ロータリークラブ、湘南学園安田学園報告会をはじめます。今年は私たち帯広大谷高校から12名参加させていただき、11名の湘南学園の方々との交流会を楽しむことができました。

司会は帯広大谷高校が行いました。交流会のはじめには緊張をほぐす為アイスブレイクゲームを行ないました。グループ分けをゲームの一つとして行うという工夫はすぐに打ち解けることができたという点でもよかったと思います。互いに名前を覚えることで、グループ内でより距離が縮まりました。どのグループでも楽しんで交流する様子が見られました。私たちが用意した北海道クイズです。これは実際に湘南学園の方々に出した問題の一つです。ここは北海道のお菓子メーカーの工場兼テーマパークですが、その名称は何でしょう？ 1.六花の森、2.白い恋人パーク、3.ロイズカカオ&チョコレートタウン、実際にどれだと思いか答えていただいても良いですか？一番だと思う方。では二番だと思う方、最後に三番だと思う方。正解は二番の白い恋人パークです！。ちなみに三番のロイズカカオ&チョコレートタウンは石狩で8月4日にオープンしたそうなのですが、行ったことのある方はいらっしゃいますか？いない？私も行ったことがないんですが、ぜひ行ってみてください。どのグループでも真剣に取り組んでいたのが北海道について知ってもらえる良い機会になったと思います。次はお互いのことをもっと知るために部活動紹介を伺いました。この映像は、湘南学園さんの発表一部の映像となっておりますが、湘南学園さんの大きな特徴として、先生に頼らず、生徒主体で何事も活動して行くというのが特徴的でした。特に珍しい活動も行なっていました。ちょっと見づらいと思うんですが、竹プロジェクトとひまわりプロジェクトっていうのがありました。その内容を簡単に説明させていただきますと、竹プロジェクトは成長しすぎただけを伐採して行くというプロジェクトで、ひまわりプロジェクトはひまわりの種を植えてひまわりを育てて、そこに出来た種を福島に送るというプロジェクトとなっております。どちらも参考になり帯広大谷高校でも何かできないかなと考えるきっかけとなりました。続いて私たち帯広大谷高校が発表の一部となっております。これが帯広大谷高校の敷地ですという湘南学園の皆さんは敷地の広さに驚いているという

のがとても印象的でした。私たち自分で学校のことを説明していますと改めてこんなに充実した高校生活を送ることができていたんだと感じました。また、そう実感できた。今回の研修会の機会を設けてくださった皆様。本当にありがとうございました。こちらは記念撮影をした様子です。また、去年に引き冷やし肉うどんをいただきました北海道と違う味付けで、その文化の違いを感じました。交流会も終盤に差し掛かり、江ノ島観光に連れて行っていただきました。この日の気温はなんと36度で慣れない暑さで焼ける程でした。ありがたいことに、湘南学園の献身的なサポートのおかげで短時間ではあったんですが、江の島を満喫することができました。この日は隅田川花火大会を日と重なっていたこともあり、またコロナ過で四年ぶりの開催だったと言うことでした。そして来場者はなんと103万人だったそうです。夕食後には人一人一日の終えての感想や翌日への意気込みなどを発表しました。その中で多かった意見として初めての参加だったので、積極的に話せなかった。だから。明日は相手の高校が主催ではあったんですが。ええ積極的に話を盛り上げて、ここでしかできない体験をしたいという声が多かったです。三日目は7校での合同地区研修会を行ないました。エスディージーズについて発展途上国についてなどのお話を聞いたり、聞いたことを踏まえてのグループ討議の研修会でした。右の写真は自己紹介をしている写真なんですが、初対面相手だったのでとても緊張していました。今回はエスディージーズと世界の多様性アフリカカメルーン派遣の活動現場から学んだことをテーマにアフリカカメルーンの現状を小野洋文さんより教わりました。ちなみに小野さんなんですけど、慶応義塾大学を卒業後、番組プロデューサーとディレクターを経験しています。その後は青年海外協力隊でカメルーンで番組を制作して、帰国後は名古屋大学院を修了して現在、映像ディレクターとして活動しています。左側の写真は国際ロータリー第2580地区東京東ロータリークラブの方々帯広北ロータリークラブの方々です。みなさんのおかげでこのような経験を行うことができ、とても感謝しています。ありがとうございました。こんなことについて話していきたいと思えます。小野さんの話によると、発展途上国でも携帯のテレビが使われていて、日本で行っているようなトーク番組の生放送を行っているという事実が意外だったものの、やはり皆さまが知っているような水不足や電気不足などの問題はたくさんあるようです。グループ討議の時でも様々な意見があって、たくさん学びを得ることができました。閉会式では帯広北ロータリークラブの齋藤様よりご挨拶を頂きました。そして、生徒代表として大谷高校二年の谷瀬さんが謝辞を送りました。今回の研修参加し支援をする際には、お金だけでなく技術を伝えることが必要だなどという意見を聞き多くの意見や学びを見つけることができました。この経験を生かして積極的にディスカッションを行ない、新しい意見を取り入れていこうと思えます。7校が参加しいろいろな方と交流できました。最後に今回の研修に参加した12人の生徒のうち、4人の振り返りを紹介いたします。





研修に向けて各自目標を決め、その反省について書かれています。私は交流する人と明るく接するという目標を立てて、ゲームや観光では達成できましたが、グループワークでは難しい場合もありました。ですが、多くの学びを見つけることができ、この経験を活かして行きたいと思っています。次に一年生の野本くんです、反省点もあるため今後の学校生活に活かして行きたいと書かれています。写真は江ノ島の展望台で撮った写真です。次に一年生の朽木さんです、他校との研修や交流ではもちろん、ほかの場面でも帯広では経験できないことがあり、多くの学びを得た2日間でした。とても楽しく、貴重な時間でしたと述べています。最後となりますが、今回の研修・企画、そして支援してくださってありがとうございました。以上で研修報告を終わります。ありがとうございました。

【 北海道ゼロカーボン研修会報告 】

葛西 怜汰郎 様、和田 樹規 様、堀籠 大貴 様  
僕たちは10月10日に石狩市で行われた道庁主催のゼロカーボン北海道ポスターに参加してきました。最初に行ったところは、石狩湾新港発電所というところで、こちらは北海道電力さんが運用する施設で燃料をLNG液化天然ガスを使用する世界トップクラスの発電効率を実現した発電所となっています。

その発電効率は驚異の60%を超える電気に変えることができ、従来の物よりも約2倍の発電効率があります60%の発電効率を出している。施設はガスタービンコンバインドサイクル発電方式というものであります。

こちらの発電方式は、二つのガスタービンを同時に使うことで二酸化炭素を増やして、より発電効率を上げるために作られた発電方式のことです。こちらの発電の利点は高い発電効率、こちら60%の発電効率を維持しているということにあって、優れた環境特性と、優れた運用性というのは、ずっと北海道電力の本部から送られてくる目標供給電力量みたいなものを5%とか10%からすぐに調整できるということが二つに直結している利点である。こちら一応火力発電所になるんですが、再生可能エネルギーを使った発電というのは、どうしても天候に左右されてしまうので、そこでできるだけCO2を抑える発電効率を受けるといのは、これからの時代どうしても必要ということをおっしゃっていました。以上です。

次に石狩湾新港洋上風力発電所に行きました。こちらの発電所では今年の12月から試運転が開始されて、来年の1月から本格的に商用が開始されます。なんで石狩なのかというと、安定した強い風が吹くから、そしてあとは札幌とか電気多く使う都市が近くにあるからと再生エネを使ってもものづくりをする企業が集まってい

るから、発電していっぱい発電して余ってしまった電力を余剰電力と言うのですが、ここから水素を作って再生エネの地産地消を行っています。カーボンニュートラルのは温室効果ガスを排出量と吸収量を全体としてゼロにすることを指しています。こちらの発電所で1基当たり8000kWで14基あるので112,000kW発電することが出来ます。こちら1基当たり8000kWは日本初であり、日本最大級です。1年あたり約143トンのCO2を削減することができます。私たちは3か所目に石狩新港バイオマス発電所に行ってきました。ここは木質ペレットPKSを使ったバイオマス発電で51,500kW発電を行っています。この電力は約17,160世帯分の電力で、ここまでの発電は北海道のバイオマス発電所では最大級です。そして木質ペレットPKSは東南アジアから輸入していて提携を結んでいるので、安定供給を実現しています。この施設は24時間365日稼働しています。次にバイオマス発電の仕組みとメリットですが、バイオマス発電所の仕組みは見ての通りペレットとPKを所蔵し、ボイラーで燃焼させ、水を水蒸気にします。そしてタービンを回すのですが、まず高圧タービンを回して、その後残った水蒸気で低圧タービンを回すことにより、従来のバイオマス発電所よりも多くの電力発電します。バイオマス発電所のメリットは、カーボンニュートラルで、環境に優しい発電ということと再生可能エネルギーであるということです。

最後に私たちは北大教授の山中先生の講義を聞きました。その講義でふたつのことを学びました。今後、より良い世の中に必要なことは1つ目は気づかなかった当たり前に気づくということです。歴史や海外を知れば、多様性を大切にすれば、気付いてない当たり前を減らすことができます。これが社会変革の第一歩になるということです。2つ目は、SDGsの達成を意識した行動をするということです。主にジェンダー平等の項目を達成することにより、さまざまな課題の解決に直結しています。これらを行うことによって、GDPから脱却し、すべての国民に公正で公平な未来を実現するというウェルビーイング経済を実現することが出来ます。これからゼロカーボンのサービスや商品を使ってSDGsの達成に達成を意識し、ウェルビーイング経済を実現するというのが今後の企業に求められているのではないのでしょうかと思いました。最後にまとめです。私たちはゼロカーボンという言葉あまり聞いたことしかなかったので、今回のツアーに参加していろいろ学ぼうと思っていたのですが、想像以上にたくさんのお話を学ぶことができ、とてもいい機会になりました。これで私たちの発表を終わります。

■ 次週のプログラム予定

「休会」

■ 閉会宣言

■ 点鐘

石岡 幸雄 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21  
帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館  
〈火曜日〉 芽室RC:めむるーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル  
帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■ 出席報告 / 長谷川道正 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メークアップ	欠席	出席率
65	60	41			68.3%